

平成 29 年度アカデミックインターンシップ 実施報告

日時：平成 29 年 8 月 8 日（火）13 時 30 分から 15 時

場所：岩手大学理工学部

担当：社会基盤・環境コース 基盤耐震（地下計測）研究室

参加者：多賀城高校，一関第一高校の高校生計 5 名

社会基盤・環境コースでアカデミックインターンシップ体験実習を担当しました。コース全体では 2 日間を複数の研究室で対応しましたが、私の研究室（基盤耐震（地下計測）研究室）では、表面波探査装置を利用した地盤探査の説明と野外実習を担当しました。人力で人工振動を発生させて、多数のセンサーで振動を捉え伝播速度の違いを利用して地下を可視化する手法です。地盤の強度の把握や地震防災のためによく使用されています。あいにくの悪天候のため本来野外で実施する探査を屋根のついているものづくりセンターの中庭で実施しました。参加した高校生は興味津々で地震計や探査装置を扱っていたようです。たった 10 数分の実験と野外における解析で地下の様子が把握できることに驚いていたようです。

（文責：山本英和）



写真 表面波探査実験の様子。一直線上に地震計を並べて、かけやで地面を強打して振動を発生させ振動の伝わる様子を解析する。